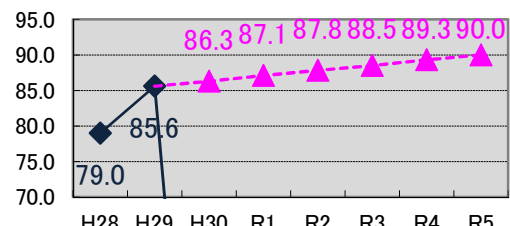
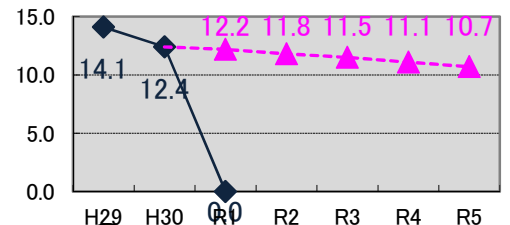


1-1-1 健康づくり 1 小分野:各施策の大綱を構成する最も基本的な単位となる30の施策。

細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠	多様な主体との協創による取組	5年後のまちを実現する にあたっての課題とその解決方法	指標		
身体 の 健康	①健(検)診や地域の活動により、一人ひとりが自然に健康に対する関心を持ち、元気で生きがいを持った市民が増えている。	5「行政の5年間の主な取組」に掲げる項目のうち、特に「5年後のまち」の実現に向けて効果のあった取組を3つ以内で選択。	6選択した各取組について、令和元年度に実施したこと、実施したことが5年後のまちの実現にどのように効果があったかの説明。	7「多様な主体との協創」の項目のうち、令和元年度に実施したものとその効果。	85年後のまちを実現するにあたっての課題と、どのようにその課題を解決していこうと考えているかの説明。	がん検診精密検査受診率(%) 		
	目指す値					実績値		
	H30					H30		
35年後のまち:各細分野において、市民や事業者、行政が共に5年後に実現を目指す将来の暮らしや、まちの姿、行動を示したもの。				9課題解決のために必要な要素のチェック	86.3			
2細分野:30の小分野のもと、79の細分野を設定したもの。				課題解決のために必要な要素 ☐ 財源 ☐ 人員 ☐ 組織体制 ☐ その他 ()	105年後のまちの実現に向けて、その達成度を測る「ものさし」として設定した指標の実績値及び各年度において目指す値。			
細分野	5年後のまち	5年後のまちの実現に効果のあった取組 (効果のあった取組から順に)	取組による5年後のまちへの効果の内容とその根拠	多様な主体との協創による取組	5年後のまちを実現する にあたっての課題とその解決方法	指標		
心 の 健康	②住民同士の声かけや助け合い活動、相談機関の活用により、心の健康が維持でき、自分らしく生きがいを持ち、安心して暮らすことができる。				115年後のまちの進捗度を6段階で選択 A:5年後のまちをすでに実現している B1:5年後のまちの実現に向けて順調に進んでいる B2:5年後のまちの実現に向けて概ね順調に進んでいる C1:5年後のまちの実現にはもう少し努力が必要である C2:5年後のまちの実現には努力が必要である C3:5年後のまちの実現には相当努力が必要である	自殺死亡率(%) 		
	市民実感度							125年後のまちの進捗度を選択した理由
	4「5年後のまち」について、市民の実感としてまち全体がどの程度実現しているかをアンケートで調査。 (※ 令和2年度は満足度調査未実施)							課題解決のために必要な要素 ☐ 予算 ☐ 人員 ☐ 組織改編 ☐ その他 ()

総合計画審議会からの「5年後のまち」実現に向けた提言等

13総合計画審議会からいただいたご意見等を記載。